

進路を考える上で読んでおきたい本

神戸市立神港橋高等学校
みらいサポートセンター

以下の本は、進路を考える上で臨時休業中に読んでもらいたい、おススメの本です。時間がある今こそ、普段あまり本を読んでいなかった人も、手に取って新しい世界に触れてみましょう。

漫画もあります。長編小説もあります。歴史ものもあります。入試の小論文対策になるものもあります。電子版（無料）で読めるものもあります。いろいろチャレンジしてみましょう。

なお、※印がついている本は、北館2階の小講義室（進路自習室）に置いているので、貸し出しを希望する人は、次回登校日にみらいサポートセンター・進学担当まで来てください。

1. 「ブラックジャック」 手塚治虫著

医療マンガの不朽の名作です。命の尊厳について、家族の大切さについて、勇気について等、一つ一つのストーリーが深く心に沁みわたります。手塚治虫の代表作の一つ。

2. 「兎の眼」 灰谷健次郎著

本当の教育とは何か？ 大学を卒業したばかりの女性教員と1年生男子児童との交流を中心に、教育の本質を問う1974年の話題作。先生を目指したい人は、ぜひ読んでおきたい一冊です。

3. 「日本の論点 2020～2021」 ※ 大前研一著

2012年の発売以来、この本で7冊目となる人気シリーズです。国際情勢の解説などユニークな視点に注目です。入試の面接・小論文対策にも有効です。

4. 「最新情報版 大学生が狙われる50の危険」 ※ 全国大学生生活協同組合連合会等、共著

SNSトラブル、ブラックバイト、契約トラブルなどに対して、有意義な大学生活を送るために、あらかじめ知っておきたい安全・安心マニュアルです。

5. 「漫画 君たちはどう生きるか」 ※ 原作：吉野源三郎 漫画：羽賀翔一

誰にでも経験のあるエピソードから物語は始まります。中学生と彼のおじさんとのノートの交流を通して、少年の心の成長を描いています。80年以上前の名作が漫画でよみがえり、200万部を超える大ベストセラーになりました。

6. 「ゴールデンカムイ」 野田サトル著

舞台は、日露戦争直後の北海道。アイヌ民族の集めていた莫大な黄金の争奪戦をめぐる、歴史エンターテインメント。面白さ満載です。アイヌ文化がふんだんに紹介されています。手塚治虫文化賞マンガ大賞の2018年受賞作品です。

以上